第 16 回　メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION

THE 16th

受賞作品集



全日本印刷工業組合連合会

まえがき

全日本印刷工業組合連合会・ＣＳＲ推進委員会では、2022年12月に開催いたしました「第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」におきまして高い評価を得た作品を、受賞作品集として冊子にまとめました。

今回は3つの募集部門（①グラフィックテクニック（DTP）　②商品企画　③製本、加工技術）に対し、全国から255点（一般の部:46点、学生の部:209点）の応募をいただきました。これらの作品については審査会で厳正な審査が行われ、全17点の受賞作品が決定いたしました。

それぞれの受賞作品には審査委員による講評を掲載していますので、メディア･ユニバーサルデザインについてさらに深くご理解いただくためのツールとしてご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本コンペティションの趣旨にご賛同いただきご後援･ご協力を頂戴しました官公庁・企業・団体の皆さま、および作品のご応募を頂戴しました皆さま、審査会にご参加いただきました審査委員の皆さまに心より御礼を申し上げます。

全日本印刷工業組合連合会
会　長　　滝澤　光正

ＣＳＲ推進委員会
委員長　　浦久保康裕

第 16 回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション審査委員（敬称略・順不同）

審査委員長
寺井　剛敏（金沢美術工芸大学　視覚デザイン研究室　教授）

審査委員
古瀬　　敏（一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会　理事長）
高橋　正実（ＭＡＳＡＭＩ　ＤＥＳＩＧＮ）
小浜　朋子（静岡文化芸術大学　デザイン学部　デザイン学科　教授）
武田　一孝（一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会　専務理事）
竹綱　章浩（きづきデザインラボ）
伊藤　裕道（ＮＰＯ法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会　会長）
橋本　　博（ＮＰＯ法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会　事務局長）
浦久保康裕（全日本印刷工業組合連合会　ＣＳＲ推進委員会　委員長）

第16回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

審査結果

応募総数：255点（一般：46点、学生：209点）

		企業・学校名	出品者 （敬称略）	作品名	都道府県
経済産業大臣賞	一般	松本印刷株式会社	池野絵美、岡野良哉	伝える　おくすり手帳のしおり	静岡県
	学生	専門学校 浜松デザインカレッジ	山﨑朱梨	色覚多様見本帳	静岡県
優秀賞	一般	大阪シーリング印刷 株式会社	村中成仁、中原聡美、 池田恒、籠谷昌典、 河澄香菜子、勝山優行、 柴田みお、藪脇香帆、 石橋恵、清水鈴太	あとはまかせた。 ～デジタル遺品のおかたづけ～	大阪府
		株式会社新聞印刷	安髙正裕、高乗宏適、 小田川郁夫、水野祥徳、 草川祐二	日本語学習　コミュニケカード	大阪府
	学生	静岡デザイン専門学校	日髙駿、佐久間太一、 田端健生、増田智哉	ヘルプマークプラス	静岡県
		専門学校 浜松デザインカレッジ	鷺坂珠里	視覚と感触でわかるＭｙスリーブ	静岡県
		専門学校 浜松デザインカレッジ	大石美緒	これがあれば安心！スマホ用語集	静岡県
佳作	一般	日興美術株式会社		もしものかるた 震災バージョン／水害バージョン	静岡県
		三和綜合印刷株式会社	製品開発委員会	折るだけ簡単　楽とじファイル	広島県
		株式会社大川印刷	吉川侑里	～パラパラ漫画つき～手話で挨拶	神奈川県
		株式会社一心社	制作部	お口の働きを高める体操で元気にスマイル	大阪府
	学生	静岡文化芸術大学	伊藤寿珠	「いつも」と「もしも」のMY TOWN MAP	静岡県
		静岡デザイン専門学校	鈴木遼	あすあるカレンダー	静岡県
		専門学校 浜松デザインカレッジ	河合一葉	会話カードデッキ	静岡県
		専門学校 浜松デザインカレッジ	井口李蘭	cloch触れる素材カード	静岡県
		京都女子大学	竹原早菜	つたえるカード	京都府
		京都女子大学	兒玉風花	もくもく？ひつじのおなか	京都府

経済産業大臣賞
一般の部

伝える おくすり手帳のしおり

松本印刷株式会社
池野絵美、岡野良哉（静岡県）



工夫点

薬剤師さんに伝えたいこと、知っておいてほしいことを伝える、コミュニケーションのためのしおりです。
①おくすり手帳に薬シールを貼ってほしいページを伝える
②今の自分の状態をシールで伝える
③もしもの時には緊急連絡カードとして使える

講　評

高齢者が増えている社会的背景を踏まえ、くすりの、飲み合わせ情報以外の補足情報をステッカーで対応できるのが素晴らしい。風邪で喉が痛くて話せない状態でもコミュニケーションがとれる可能性があり、この手帳を持参することで色々な障がいのバリアを意識しないでコミュニケーションがとれる可能性を高く評価した。

ポイント1 薬シールを貼るページを伝える

しおりを挟んでおくことで次に薬シールを貼るページをすぐに開くことができます。
二つ折りタイプなので、しおりの存在が分かりやすく落ちにくいのもポイント。





薬シールとは

松本太郎　様
処方日：2022/00/00　■■病院　Dr:■■■■

■■■■■■■錠　5mg　1錠
1日3回毎食後　7日分

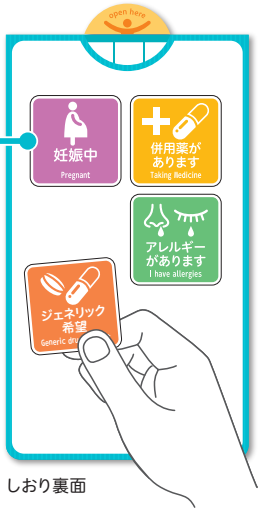
■■■■■薬局
TEL.000-000-000　薬剤師：■■■■

薬の名前や用法・用量など処方内容が印字されたシールのことです。

ポイント2 今の状態をシールで伝える

裏面は附属のピクトグラムシールを貼るスペース。からだのこと、今の状態や希望する薬のことなど自分の情報を、このシールを見てもらうことで分かりやすく伝えます。

シール素材　貼った後でもはがしやすい再剥離素材を使用。その時の状態に応じて内容を変えることができます。



しおり裏面



附属シール

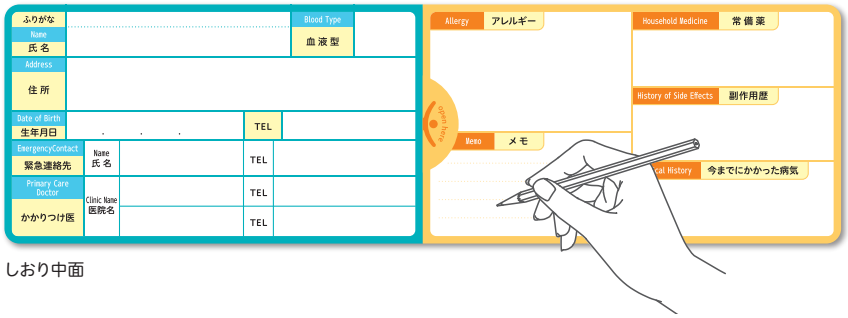


しおり表面

ポイント3 もしもの時には緊急連絡カードとしても使える

中面は名前や緊急連絡先、アレルギーなど所持者の情報を記入するスペース。携帯することで災害・事故・急病などの緊急時に、適切な処置を受ける手助けにもなります。手帳自体にも記入欄はありますが、しおりに書き込んでおけば、新しい手帳に変えるときにも書き直す手間がなく便利です。

しおり素材　繰り返し使用できるよう破れにくく丈夫なユポ紙を使用。鉛筆やボールペンで記入がしやすい点も特徴です。



しおり中面

ユニバーサルデザイン適応

文字はUDフォントを使用。ピクトグラム、英語併記で多くの方に分かりやすいデザインです。
記入面は「**緊急時などに役立つ所持者の個人情報**」と「**薬に関するからだの情報**」で色分けしています。




D型（2型）色覚シミュレーション

経済産業大臣賞
学生の部

色覚多様見本帳

専門学校浜松デザインカレッジ
山﨑朱梨（静岡県）



色覚多様見本帳

工夫点

見やすいようにすべての文字をＵＤフォントにしたほか、触れる機会が多いＰＣＣＳ（日本色研配色体系）を対象とすることにより、使用性を高めて多くの色の色覚多様が理解できる。そして、それぞれのカラーコードにより簡単に色を構成できる。

色覚多様の認識だけでなく、それぞれのグレースケールを表示することにより全体のコントラスト調整ができる。

コンセプト

誰でも一眼で色覚多様の色がわかる色見本帳

デザイン制作の際に一般的な色彩だけでなく色彩多様性の方々にも伝わるような色彩を意識し、色彩多様性を身近に感じさせる用途として作られたものであると同時に身近にあることで子供に関わる教育者にも簡単に手が届き理解及び対策の手段になる。

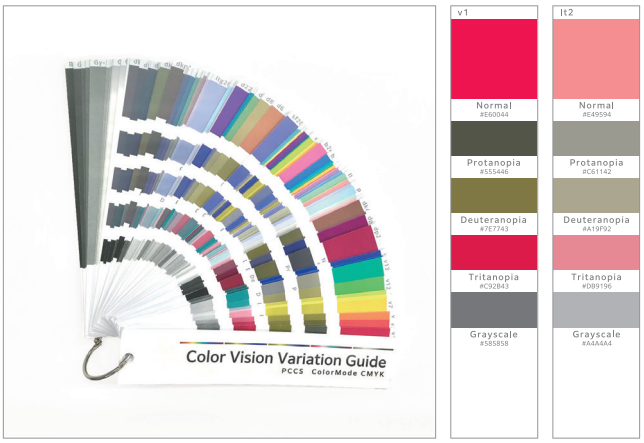
ターゲット

見本帳を利用するデザイナー

美術や色覚を専門とする教育者

使い方

既存の色見本帳と使い方は同じであり扇子のように開くことにより色を見ることができる。



PCCS トーンをそれぞれの色で視え方別に分けたもの。

上から Normal（一般色覚）、Protanopia（１型２色覚）、Deuteranopia（２型２色覚）、Tritanopia（３型２色覚）、グレースケール及び Achromatopsia（１色覚）となっており１つの一般色を見ただけで色覚多様の見え方さえもわかる。デザインや色彩の組み合わせの際に色覚多様性の方への配慮が行いやすくなる他、それぞれの色のグレースケールがわかるのでコントラスト調整にも役立つ。教育者が所持していれば子供が見やすいはっきりとした色合いを簡単に探すことができ、色覚多様性の子供がいた時の対処も即座に行うことができる。

講　評

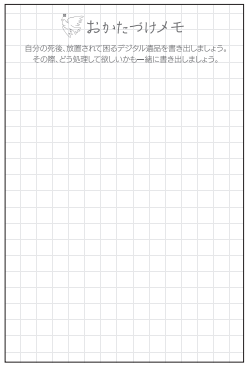
ありそうでなかった、誰でもひと目で色覚多様の色がわかる見本帳として形にした行動力を高く評価した。審査委員の方々からはデジタルでなく、見本帳にすることですぐに比較できること、情報を共有できること、教育ツールとしての可能性が感じられることなどの多くの意見や感想が出た。印刷業界のＭＵＤとして象徴的な作品という点で高く評価した。今後、商品化を実現できることを期待したい。

優秀賞
一般の部

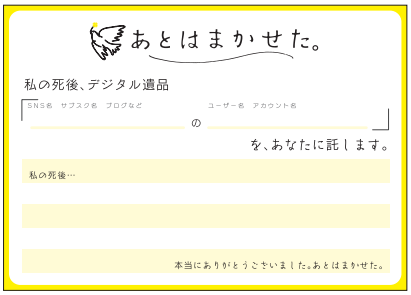
あとはまかせた。
～デジタル遺品のおかたづけ～

大阪シーリング印刷株式会社
村中成仁、中原聡美、池田恒、籠谷昌典、河澄香菜子、勝山優行、
柴田みお、藪脇香帆、石橋恵、清水鈴太（大阪府）

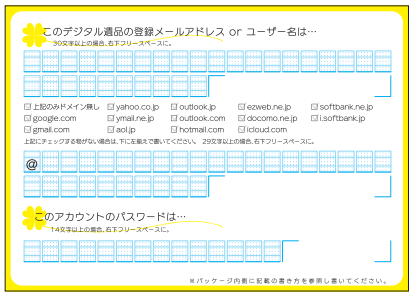
おかたづけメモ



あとはまかせた。カード

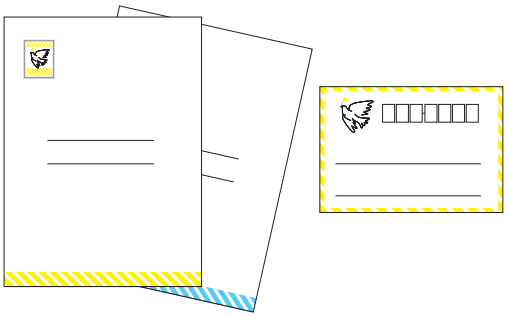


表面



裏面

振り分け用封筒・宛名シール



収納ケース



予告カード



工夫点

多くの人に利用され日常に浸透している身近なデータやサービスが、「デジタル遺品」として死後永久的に世の中に放置され続けてしまうという問題が起きている。しかし、このデジタル遺品の問題に対し、不安に感じながらも生前に整理を行えている人はほとんどいない。

そこで、①自分がどのようなデジタル遺品を持っているか、②どのようにデジタル遺品の処理をするか、③処理してほしいデジタル遺品を誰に託すか、この３つの問題を解決できる作品をＭＵＤの手法に基づき制作した。

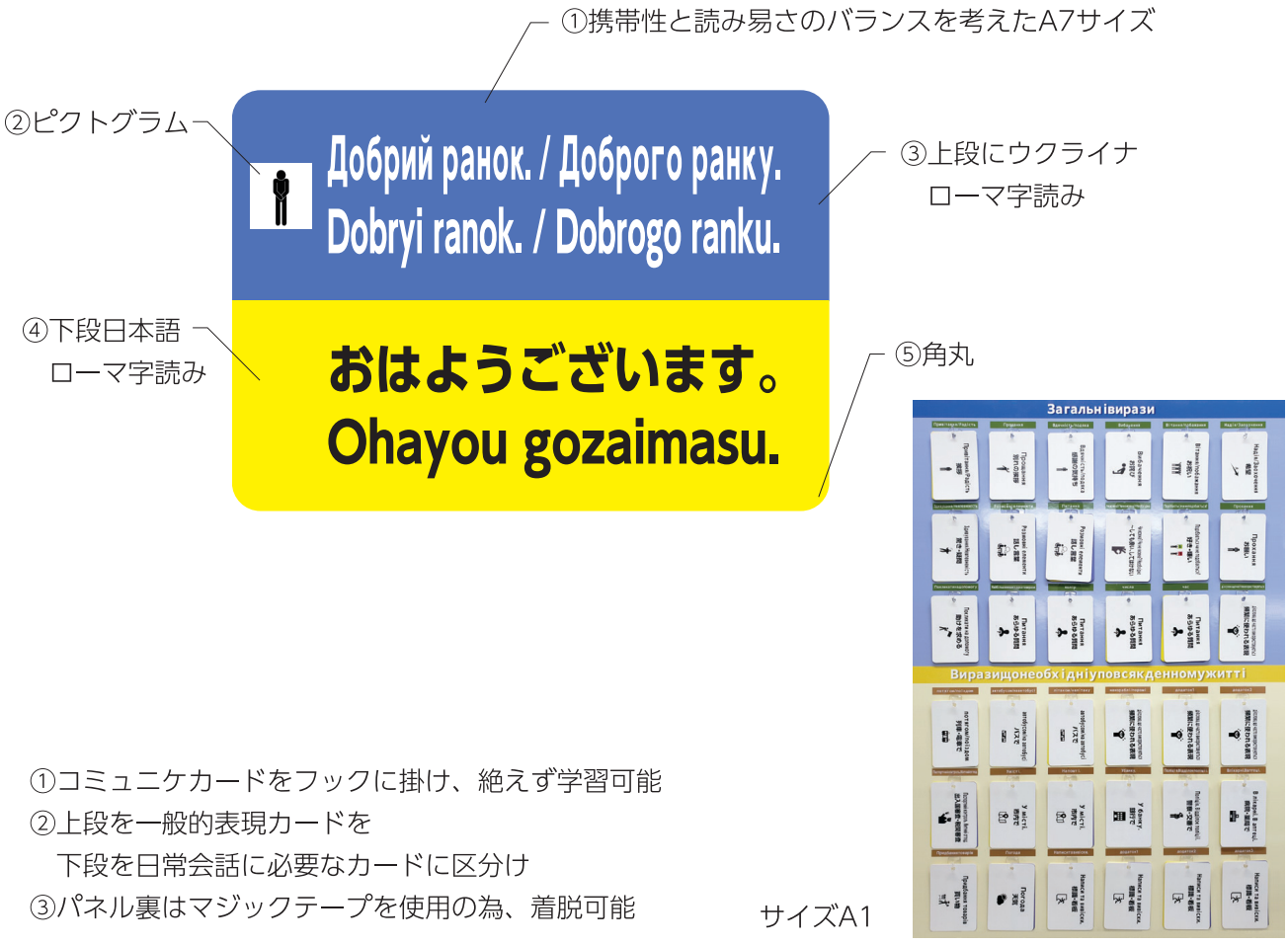
講　評

終活について色々な書籍やツールが出ているが、いざという時にはデジタルでなくアナログの紙で記録に残すというメリットを評価した。終活という暗くなりがちな内容を明るいイメージで、デザインのクオリティも高くまとめられている点が審査委員の方々の共感を得ていた。実現に向けての取り組みに期待したい。

優秀賞
一般の部

日本語学習　コミュニケカード

株式会社新聞印刷
安髙正裕、高乗宏適、小田川郁夫、水野祥徳、草川祐二（大阪府）



①コミュニケカードをフックに掛け、絶えず学習可能
②上段を一般的表現カードを
　下段を日常会話に必要なカードに区分け
③パネル裏はマジックテープを使用の為、着脱可能

サイズA1

工夫点

当社は15年前より「日本ウクライナ文化交流会」と強い結びつきがあります。ウクライナから日本に避難民として来日された方の一番の難題が「言葉の壁」だと聞きました。

作品出品にあたり、避難民として来日された大学教授をはじめ、いろいろな方に協力を得て使いやすさを第一に工夫しました。

講　評

現在、世の中の関心があるウクライナ問題を、関係のある交流会へ向けて支援している企業姿勢を評価した。アナログで制作することで、多言語でのコミュニケーションがすぐに使えるメリットを形にしており、日常にあるべきＭＵＤのいいところを評価した。

優秀賞
学生の部

ヘルプマークプラス

静岡デザイン専門学校
日髙駿、佐久間太一、田端健生、増田智哉（静岡県）



工夫点

ヘルプマークのように取り外し可能なストラップで、色弱の方に優しい色と色数でデザインしました。

各障がいのアイコンの改善を目的とした、シンプルで視認しやすい大きさのピクトグラムにしました。裏面には持ち主に応じた必要事項を記入可能です。

素材に関しては、ゴム等の雨で濡れても心配ない素材で制作し、壊れにくいものにする予定です。

講　評

ありそうでなかったモノをカタチにして世の中に提示していること、ヘルプマークに物足りなさを感じていた、そのデメリットを補足できる提案になっている点、ヘルプマークの赤に対して青の組み合わせも新鮮で共感を得られる可能性があるなど、審査員からの共感を得た作品である。

優秀賞
学生の部

視覚と感触でわかるＭｙスリーブ

専門学校浜松デザインカレッジ
鷺坂珠里（静岡県）



工夫点

目で見て、手で触って自分のものだと判断できるようにしました。

講　評

触ってわかり、見てもキレイな仕上り、紙だからこそできる展開のプロトタイプになっている点を評価した。あったらいいな！と思うアイデアであり、大人数で集まる時に使うメリットなど、使っているシーンが見えてくる可能性を評価した。また、広告などを入れることでマネタイズできる可能性を感じられる作品である。

優秀賞
学生の部

これがあれば安心！スマホ用語集

専門学校浜松デザインカレッジ
大石美緒（静岡県）



工夫点

●用語の説明は一言、二言で簡潔にわかりやすく
●知りたい用語をすぐに探せるインデックス付き、あいうえお順
●アイコン、ピクトグラムを用いてわかりやすく
●読みやすい文字の大きさを意識
●色覚障がいがある方でも見やすい配色
●用語によっては補足情報や豆知識も記載

講　評

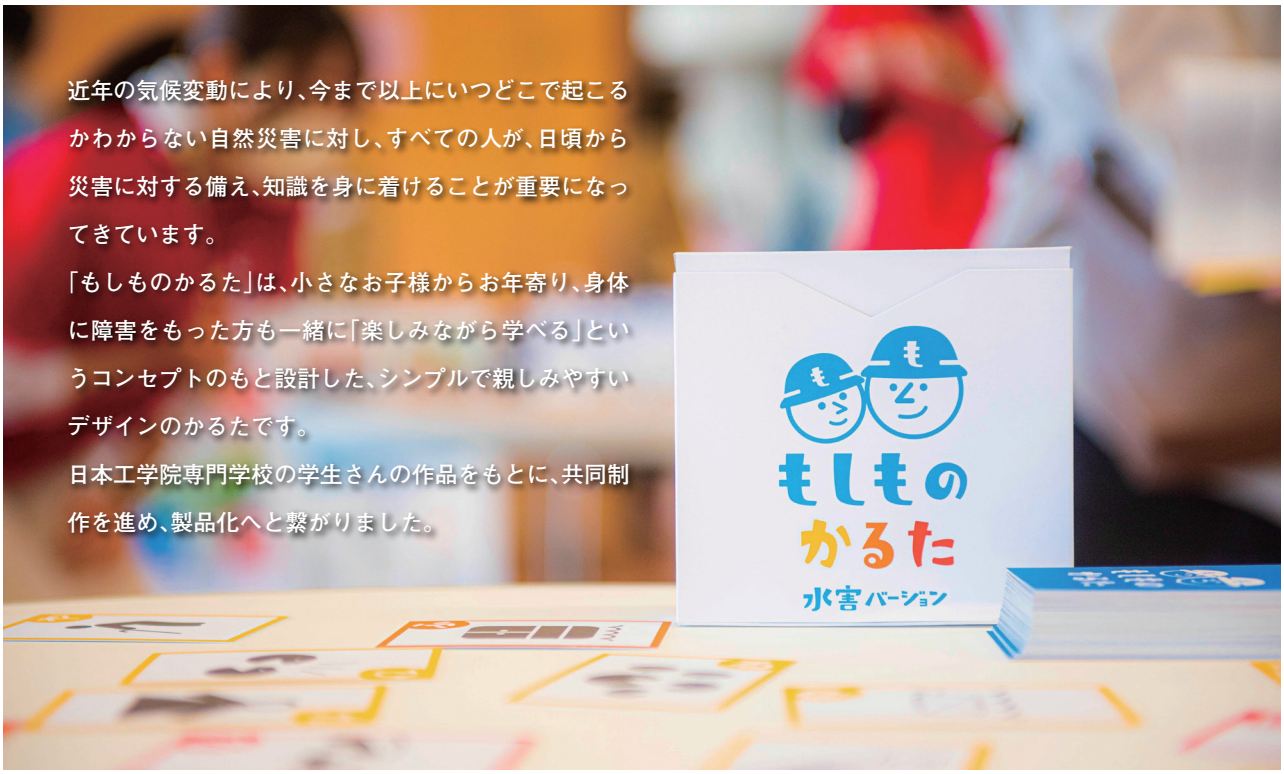
新しい言語がわからない時、若い人にも聞きにくい高齢者にとってメリットがある作品。今さら聞けないＩＴワードを調べるメリットがすごく端的に情報が整理されており、ほどよい文章とデザインなど、使う人を選ばない、誰もが使える優しいデザインを評価した。

できれば、インデックスで青の同系色になっている点を、青以外の色に工夫するなどの改善を期待したい。

佳作
一般の部

もしものかるた
震災バージョン／水害バージョン

日興美術株式会社（静岡県）





講　評

商品化されているクオリティが高い作品。欲をいえば、危険度の赤とオレンジが似通っている部分の改良や、３段階の危険度にしたことでよりＭＵＤのノウハウを検討する必要を感じる。ゲームもスマホなどデジタルでの対応が多いなか、この商品を教育現場などで使うことでアナログの良さを含め、今後の普及を前向きに検討して欲しい作品である。

佳作
一般の部

折るだけ簡単、楽とじファイル

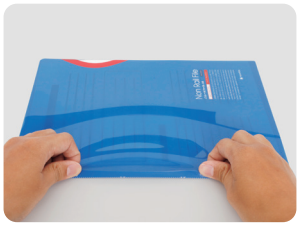
三和綜合印刷株式会社
製品開発委員会（広島県）



■使い方



■特徴



■書類をはさんだまま折り目をつけることで、抜け落ちにくくなります。



■指ぬきを両面に配することで、利き手に関係なく使いやすいのが特長です。

講　評

以前、右利き、左利きにこだわらないファイルを開発し、今回装置をつけなくても紙が落ちにくい工夫を会社として継続的に取り組んでバージョンアップしていることを評価した。

素材を環境に配慮するなど、より時代性を検討する工夫を期待したい。

佳作
一般の部

パラパラ漫画つき　手話で挨拶

株式会社大川印刷
吉川侑里



講　評

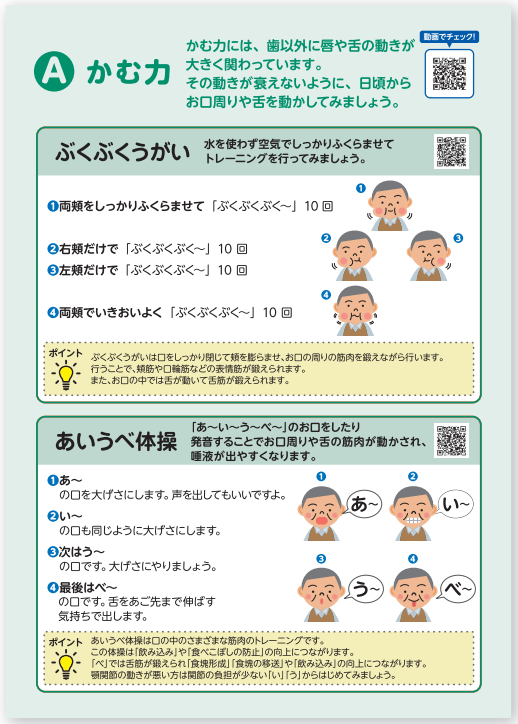
２次元コードを読み取る手間もなく、パラパラ漫画はアナログであること、手軽に何度でもスピードをコントロールしながら、自分のペースで理解することができるなど、スマホにはないメリットがあり、そのメリットをデザイン的にも丁寧にまとめている点を評価した。

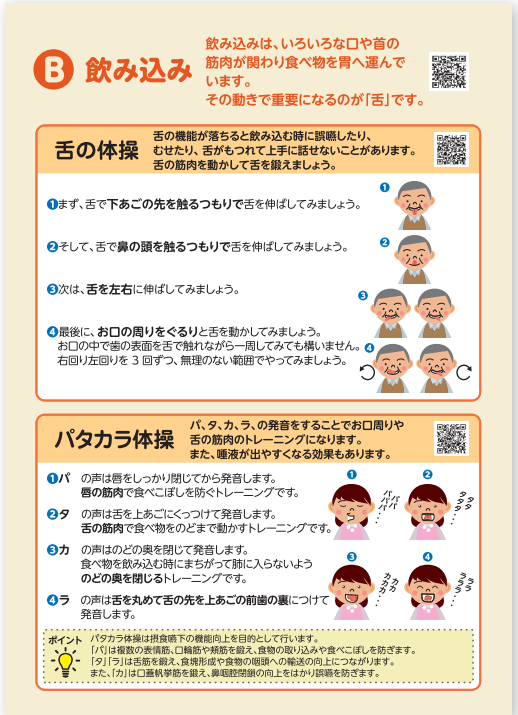
佳作
一般の部

お口の働きを高める体操で元気にスマイル

株式会社一心社
制作部







講　評

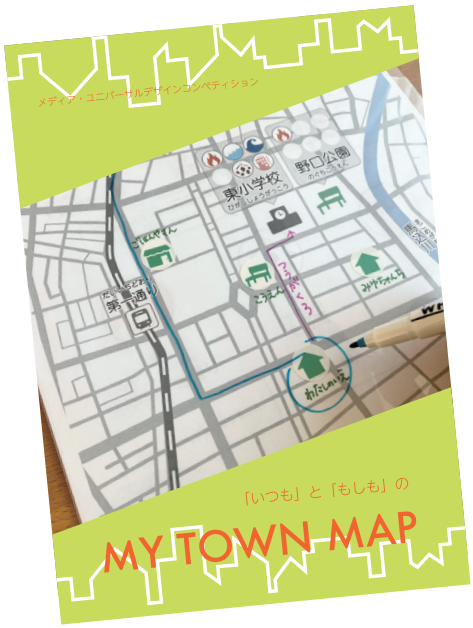
高齢者の口腔ケアが大切になっているが、今後広げていきたい内容を読みやすく、わかりやすいMUDの考え方で実践されており、高齢者の方が読みやすく仕上げられている。

2次元コードを読み取ると体操などの動画が再生され、手間なく見ながら確認できる点を評価した。

佳作
学生の部

「いつも」と「もしも」の MY TOWN MAP

静岡文化芸術大学
伊藤寿珠



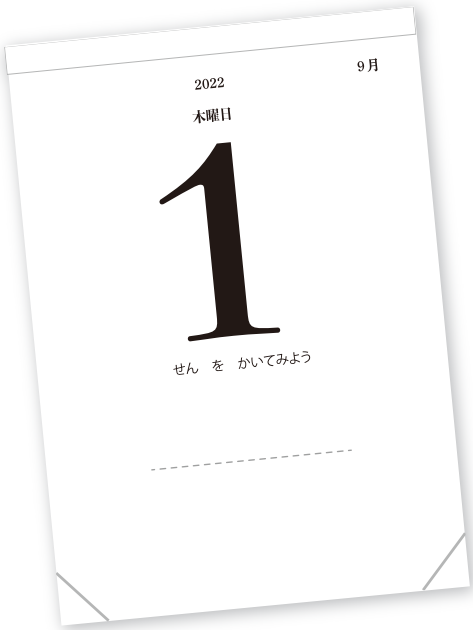
講　評

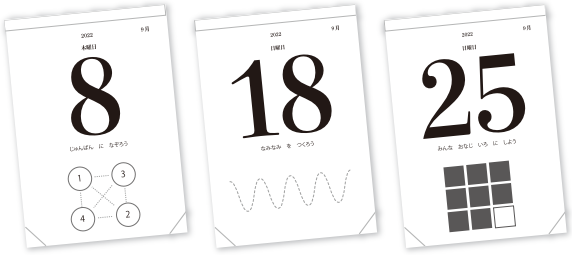
いざというとき、記録に残しておく大切さがリスクヘッジになるなど、審査委員から共感する意見が出た。残念なのは、展示の際にマーカーに色の名前が入っていないモノがおいてあったこと。提案する際は、提出するもの全体を含めて気遣って欲しい。小学生に自分の家周辺を理解させる大切さがあり、学校と家で使うなど、今後の展開も含め可能性を感じる作品である。

佳作
学生の部

あすあるカレンダー

静岡デザイン専門学校
鈴木遼





講　評

印刷業界として助かる作品。１日の終わりに日めくりを破って書くという使い方。認知症の防止に役に立つ可能性が感じられる。日めくりがどんどんなくなっていき、印刷技術のノウハウが廃れていく状況のなか、日めくりカレンダーの良さを伝えることで、大切な業界の技術を守る可能性がある点が評価された。

佳作
学生の部

会話カードデッキ

専門学校浜松デザインカレッジ
河合一葉



講　評

カードを使うことで色々なバリアを解消でき、持ち歩けるメリットがある。もう少し文字の大きさを検討することや、高齢者には、緑と青が判別しにくくにい点、また緑にクマという違和感があるなど、ここまで提案されているからこそ、審査委員から改善してよりよい作品にして欲しいと思われた作品である。

佳作
学生の部

cloch 触れる素材カード

専門学校浜松デザインカレッジ
井口李蘭





講　評

触れる、視覚以外の感覚で感じさせるトライアル作品。素材が違うものを並べている特徴があり、MUDなので文字、表示はどうなのかという意見もあった。視覚に頼ってしまう現状を、触覚を使うことにより紙素材でリアルにタッチする新しい気付きがあり、視覚と触覚との親和性が感じられ、触覚の可能性に気付かされた作品である。

佳作
学生の部

つたえるカード

京都女子大学
竹原早菜





講　評

発達障がいの話で、学生の中にはハキハキ言える学生だけではない状況で、友人からはどのカードなのかはわからない意思表示の仕方が、シンプルで工夫され伝わりやすい点を評価した。色については多くの人にわかりやすいように、今後はさらに工夫してもらいたい。

佳作
学生の部

もくもく？ひつじのおなか

京都女子大学
兒玉風花





講　評

アイデアがいい、感触がいい、視覚以外で触覚を使う新しい組み合わせで、新しいMUDという視点がある点を評価した。普段意識しないことを意識させる可能性を感じる作品である。

第 16 回　メディア・ユニバーサルデザインコンペティション受賞作品集

発　行：2023 年 3 月 20 日
発行者：全日本印刷工業組合連合会　ＣＳＲ推進委員会
発行所：全日本印刷工業組合連合会
〒 104-0041　東京都中央区新富 1 － 16 － 8
TEL:03-3552-4571　　FAX:03-3552-7727
https://www.aj-pia.or.jp/

※本書内容の無断掲載・転載および不正使用は固くお断りいたします。
※本書によって発生した問題・トラブルに対しては、いかなる場合においても一切の責任を負いかねます。

MUD
P50282

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
GREEN PRINTING JPPI
B10003

CSR
P-00142
この印刷物は、ＣＳＲに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。